

講座名	えどわんをめぐるきんせい～かいよう・かせん・ていちのちいし～				
	江戸湾をめぐる近世～海洋・河川・低地の地域史～				
主担当 講師	かんのようすけ		駒澤大学 文学部 准教授		
	菅野洋介				
概要	本講座は、江戸湾に面する品川・浅草・下総行徳などの地域史を概括的に取り上げ、江戸周辺の歴史を紹介するものです。概して、江戸東郊を取り上げ、下総や常陸、さらに東北地方とのつながりに注目していきます。また隅田川のあり方にも関わる浅草寺と周辺地域、下総行徳の製塩と流通の性格、さらに江戸湾における「津波」に象徴される災害史の性格にも迫っていきます。				
回数	全 4 回	受講料	4,000 円	配信 期間	12月
講座 レベル	初級	定員	200 名	講座 形式	オンデマンド形式
第1回	タイトル	中近世移行期の江戸湾をめぐる諸地域～浅草・行徳・妙見島を中心に～			
	担当講師	菅野洋介 (文学部 准教授)			
	内容	戦国時代から江戸時代前半にかけての隅田川河口や江戸川河口に注目します。さらに隅田川と江戸川を結ぶ小名木川なども取り上げます。なお、今回は本講座の導入編にあたります。			
	配信期間	12月 1日 (水) ～ 12月 14日 (火)			
第2回	タイトル	浅草寺日記にみる浅草寺と周辺地域			
	担当講師	菅野洋介 (文学部 准教授)			
	内容	江戸時代における浅草寺と隅田川に注目しつつ、浅草寺の歴史をみる視点を提示します。三社祭りの問題ほか、朝鮮通信使の接待や浅草で頻出した捨子や迷子などの社会問題も取り上げます。			
	配信期間	12月 8日 (水) ～ 12月 21日 (火)			
第3回	タイトル	製塩の地、下総行徳の地域史			
	担当講師	菅野洋介 (文学部 准教授)			
	内容	江戸時代における製塩の概要をふまえつつ、行徳（現在の市川市の一部と浦安市と船橋市の一部）の特徴を示します。また製塩以外の行徳の歴史的展開を概括的に述べます。			
	配信期間	12月 15日 (水) ～ 12月 28日 (火)			
第4回	タイトル	江戸湾をめぐる災害史と交通・経済			
	担当講師	菅野洋介 (文学部 准教授)			
	内容	主に、延宝8年(1680)、寛政3年(1791)の江戸湾における「津波」を取り上げます。特に「津波」の影響や当時の認識などを紹介します。なお今回は、本講座のまとめにあたります。			
	配信期間	12月 22日 (水) ～ 1月 7日 (金)			
参考文献	地方史研究協議会編『日本の歴史を原点から探る～地域資料との出会い～』（文芸出版、2020年）、 地方史研究協議会編『日本の歴史を解きほぐす～地域資料からの探求～』（文芸出版、2020年）。				
受講に あたっての 留意点	受講にあたって特段ご用意いただく必要はございません。				
	特にありません。				